

補助金チェックシート

(1)補助の内容		作成年度	30 年度	
1補助金名称	すその夏まつり補助金		2担当課名	産業振興課
3総合計画の施策の柱	5-4			
4予算科目	款	7	項	1
			目	3
			事業コード	0720
5現在考えている事業期間	終期設定の有無		無	
	開始	S47	年度	~
			終期(予定)	—
			年度	(終期設定有の場合のみ)
6根拠例規の有無	有	例規名称	裾野市産業に関する補助金交付要綱	
7必須業務	必須でない			
8性質別分類①	d市単独助成		9性質別分類②	b事業費補助
10交付先分類	c特定団体(その他)			
11交付先	裾野市夏まつり実行委員会			
12補助金の目的	市民あがてのコミュニティの場の創出。裾野市の魅力の発信による観光振興			
13補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	来客消費による商業者の売上増と市民のコミュニティの創出			
14補助対象者・団体等が補助金で行う活動	すその夏まつりの開催			
15積算根拠の有無	無			
16積算の考え方 計算式	要望額を踏まえ決定			
17補助対象経費の設定の有無	無			
18補助対象経費の内容	交際費	慶弔費	飲食費	懇親会費
				積立金
その他補助対象の項目				
19団体等の構成員数	28 年度	29 年度	補足	
団体			実行委員会組織	
人数				
	決算		予算	(千円)
20市の補助金の財源	28 年度	29 年度	30 年度	補足
国・県支出金	0	0	0	
その他補助金	0	0	0	
一般財源	17,870	17,000	17,000	
合計	17,870	17,000	17,000	
21団体・事業の財務内容	28 年度	29 年度	補足	
補助金				
助成金				
市	17,870	17,000		
その他	0	0		
事業収入	9,179	10,453		
会費(自己負担等)	0	0		
繰越金	2,164	662		
その他	7,831	7,678		
合計	37,044	35,793		
市の補助金の割合	48%	47%		

補助金名称	すその夏まつり補助金	担当課名	産業振興課
-------	------------	------	-------

(2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	無	→	2見直した年度	年度
3内容				

(3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
【必要性】		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか (ある→○、ない→×)	○	
【妥当性】		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
【有効性】		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
【公平性】		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	すその夏まつり補助金	担当課名	産業振興課
-------	------------	------	-------

(4) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	事業の終了をもって廃止を検討
②積算基準を定めているか (前年踏襲になっていない)	×	定めがない
③補助要綱で補助対象となる経費が明確 になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の 補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分 の1以内になっているか	○	
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額 は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

(5) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	来客消費による商業者の売上増と市民のコミュニティの創出
2達成状況	年々来場者が増加し、賑わいが増し、経済効果も大きい

3補助効果の評価	a十分効果をあげている
4評価の理由	市民に定着し、盛り上がっている

(6) 今後の方向性

今後の方向性	b見直した上で継続
--------	-----------

「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由		見直しの内容	事業規模について関係者で検討するとともに、自主財源の増額(出店者や利用者負担)等を検討する。
		見直しの時期	H30

「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

補助金チェックシート

(1) 補助の内容

		作成年度	30 年度	
1補助金名称	勤労者住宅建設資金利子補給補助金		2担当課名	産業振興課
3総合計画の施策の柱	5-1			
4予算科目	款	5	項	1
			目	1
			事業コード	0501
5現在考えている事業期間	終期設定の有無		無	
	開始	H28	年度	～
			終期(予定)	—
			年度	(終期設定有の場合のみ)
6根拠例規の有無	有	例規名称	裾野市勤労者住宅建設資金利子補給要綱	
7必須業務	必須でない			
8性質別分類①	d市単独助成		9性質別分類②	c利子補給補助
10交付先分類	c特定団体(その他)			
11交付先	静岡県労働金庫裾野支店			
12補助金の目的	労働金庫から貸付を受ける勤労者の生活水準の向上と持ち家の促進			
13補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	持ち家の取得による定住			
14補助対象者・団体等が補助金で行う活動	借入金利子の軽減			
15積算根拠の有無	有			
16積算の考え方 計算式	利子の0.5%			
17補助対象経費の設定の有無	有			
18補助対象経費の内容	交際費	×	慶弔費	×
			飲食費	×
			懇親会費	×
			積立金	×
その他補助対象の項目	利子			
19団体等の構成員数	28 年度	29 年度	補足	
団体				
人数				
	決算		予算	(千円)
20市の補助金の財源	28 年度	29 年度	30 年度	補足
国・県支出金	0	0	0	
その他補助金	0	0	0	
一般財源	1,233	3,843	6,500	
合計	1,233	3,843	6,500	
21団体・事業の財務内容	28 年度	29 年度	補足	
補助金				
助成金				
市	1,233	3,843		
その他	0	0		
事業収入	0	0		
会費(自己負担等)	0	0		
繰越金	0	0		
その他	0	0		
合計	1,233	3,843		
市の補助金の割合	100%	100%		

補助金名称	勤労者住宅建設資金利子補給補助金	担当課名	産業振興課
-------	------------------	------	-------

(2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	無	→	2見直した年度	年度
3内容				

(3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
【必要性】		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか (ある→○、ない→×)	○	
【妥当性】		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
【有効性】		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
【公平性】		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	勤労者住宅建設資金利子補給補助金	担当課名	産業振興課
-------	------------------	------	-------

(4) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	政策的事業であり、当分の間継続する
②積算基準を定めているか (前年踏襲になっていない)	○	
③補助要綱で補助対象となる経費が明確 になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の 補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分 の1以内になっているか	—	
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額 は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	—	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

(5) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	持ち家の取得による定住
2達成状況	上限枠まで利用申し込み有
3補助効果の評価	b一定の効果をあげている
4評価の理由	勤労者の生活水準の向上と持ち家の促進につながっている

(6) 今後の方向性

今後の方向性	a現行のまま継続
--------	----------

「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由	勤労者の生活水準の向上と持ち家の促進につながっている	見直しの内容	
		見直しの時期	

「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

補助金チェックシート

(1) 補助の内容

		作成年度	30 年度	
1補助金名称	勤労者教育資金利子補給補助金		2担当課名	産業振興課
3総合計画の施策の柱	5-1			
4予算科目	款	5	項	1
			目	1
			事業コード	0501
5現在考えている事業期間	終期設定の有無		無	
	開始	H28	年度	～
			終期(予定)	—
			年度	(終期設定有の場合のみ)
6根拠例規の有無	有	例規名称	裾野市勤労者教育資金利子補給要綱	
7必須業務	必須でない			
8性質別分類①	d市単独助成		9性質別分類②	c利子補給補助
10交付先分類	c特定団体(その他)			
11交付先	静岡県労働金庫裾野支店			
12補助金の目的	労働金庫から貸付を受ける勤労者の教育に係る経済的負担の軽減			
13補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	勤労者の生活の安定			
14補助対象者・団体等が補助金で行う活動	借入金利子の軽減			
15積算根拠の有無	有			
16積算の考え方 計算式	利子の1.0%			
17補助対象経費の設定の有無	有			
18補助対象経費の内容	交際費	×	慶弔費	×
			飲食費	×
			懇親会費	×
			積立金	×
その他補助対象の項目	利子			
19団体等の構成員数	28 年度	29 年度	補足	
団体				
人数				
	決算		予算	(千円)
20市の補助金の財源	28 年度	29 年度	30 年度	補足
国・県支出金	0	0	0	
その他補助金	0	0	0	
一般財源	84	385	600	
合計	84	385	600	
21団体・事業の財務内容	28 年度	29 年度	補足	
補助金				
助成金				
市	84	385		
その他	0	0		
事業収入	0	0		
会費(自己負担等)	0	0		
繰越金	0	0		
その他	0	0		
合計	84	385		
市の補助金の割合	100%	100%		

補助金名称	勤労者教育資金利子補給補助金	担当課名	産業振興課
-------	----------------	------	-------

(2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	無	→	2見直した年度	年度
3内容				

(3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
【必要性】		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか (ある→○、ない→×)	○	
【妥当性】		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
【有効性】		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
【公平性】		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	勤労者教育資金利子補給補助金	担当課名	産業振興課
-------	----------------	------	-------

(4) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	政策的事業であり、当分の間継続する
②積算基準を定めているか (前年踏襲になっていない)	○	
③補助要綱で補助対象となる経費が明確 になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の 補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分 の1以内になっているか	—	
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額 は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	—	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

(5) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	勤労者の生活の安定
2達成状況	上限枠まで利用申し込み有
3補助効果の評価	b一定の効果をあげている
4評価の理由	勤労者の教育に係る経済的負担の軽減につながっている

(6) 今後の方向性

今後の方向性	a現行のまま継続
--------	----------

「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由	勤労者の教育に係る経済的負担の軽減につながっている	見直しの内容	
		見直しの時期	

「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

補助金チェックシート

(1) 補助の内容

		作成年度	30 年度	
1補助金名称	富士山須山口開閉山式イベント補助金		2担当課名	産業振興課
3総合計画の施策の柱	5-4			
4予算科目	款	7	項	1
			目	3
			事業コード	0720
5現在考えている事業期間	終期設定の有無	無		
	開始	年度	～	終期(予定)
				— 年度 (終期設定有の場合のみ)
6根拠例規の有無	有	例規名称	裾野市産業に関する補助金交付要綱	
7必須業務	必須でない			
8性質別分類①	d市単独助成		9性質別分類②	a運営費補助
10交付先分類	c特定団体(その他)			
11交付先	裾野市観光協会			
12補助金の目的	富士山の夏山登山に係る行事開催により富士山のふもとである裾野市をPRする			
13補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	富士山須山口登山道のPRによる裾野市観光振興による地域経済の活性化			
14補助対象者・団体等が補助金で行う活動	開閉山式の開催			
15積算根拠の有無	無			
16積算の考え方 計算式	要望額を踏まえ決定			
17補助対象経費の設定の有無	無			
18補助対象経費の内容	交際費	慶弔費	飲食費	懇親会費
				積立金
その他補助対象の項目				
19団体等の構成員数	28 年度	29 年度	補足	
団体	-	-		
人数	-	-		
	決算		予算	(千円)
20市の補助金の財源	28 年度	29 年度	30 年度	補足
国・県支出金	0	0	0	
その他補助金	0	0	0	
一般財源	100	100	100	
合計	100	100	100	
21団体・事業の財務内容	28 年度	29 年度	補足	
補助金	市	100	100	
助成金	その他	150	150	
事業収入	0	0		
会費(自己負担等)	0	0		
繰越金	0	0		
その他	55	68		
合計	305	318		
市の補助金の割合	33%	31%		

補助金名称	富士山須山口開閉山式イベント補助金	担当課名	産業振興課
-------	-------------------	------	-------

(2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	無	→	2見直した年度	年度
3内容				

(3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
【必要性】		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか (ある→○、ない→×)	○	
【妥当性】		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
【有効性】		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
【公平性】		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	富士山須山口開閉山式イベント補助金	担当課名	産業振興課
-------	-------------------	------	-------

(4) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	事業の終了をもって廃止を検討
②積算基準を定めているか (前年踏襲になっていない)	×	定めがない
③補助要綱で補助対象となる経費が明確 になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の 補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分 の1以内になっているか	○	
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額 は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

(5) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	富士山須山口登山道のPRによる裾野市観光振興による地域経済の活性化
2達成状況	富士山須山口登山道の振興につながっている
3補助効果の評価	b一定の効果をあげている
4評価の理由	富士山の開閉山式は定着している

(6) 今後の方向性

今後の方向性	a現行のまま継続
--------	----------

「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由	富士山須山口登山道の振興につながっているため	見直しの内容	
		見直しの時期	

「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

補助金チェックシート

(1) 補助の内容

		作成年度	30 年度	
1補助金名称	観光案内所運営事業補助金		2担当課名	産業振興課
3総合計画の施策の柱	5-4			
4予算科目	款	7	項	1
				目
				3
			事業コード	720
5現在考えている事業期間	終期設定の有無		無	
	開始	H30	年度	～
			終期(予定)	—
			年度	(終期設定有の場合のみ)
6根拠例規の有無	有	例規名称	裾野市観光案内所運営事業補助金交付要綱	
7必須業務	必須でない			
8性質別分類①	d市単独助成		9性質別分類②	a運営費補助
10交付先分類	c特定団体(その他)			
11交付先	裾野市観光協会			
12補助金の目的	市民または観光客に対する観光案内及び地域経済の活性化を図る			
13補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	観光事業振興による地域経済の活性化			
14補助対象者・団体等が補助金で行う活動	市内及び近隣地の観光振興事業の振興、地方文化産業の発展向上、国際親善の増進による裾野市の発展			
15積算根拠の有無	無			
16積算の考え方 計算式	要望額を踏まえ決定			
17補助対象経費の設定の有無	有			
18補助対象経費の内容	交際費	×	慶弔費	×
			飲食費	×
			懇親会費	×
			積立金	×
その他補助対象の項目				
19団体等の構成員数	28 年度	29 年度	補足	
団体	-	-		
人数	-	-		
	決算		予算	(千円)
20市の補助金の財源	28 年度	29 年度	30 年度	補足
国・県支出金	-	-	0	30年度から観光協会補助金と観光まちづくり補助金を統合
その他補助金	-	-	0	
一般財源	-	-	4,378	
合計	-	-	4,378	
21団体・事業の財務内容	28 年度	29 年度	補足	
補助金 助成金	市	-	-	30年度より補助開始
	その他	-	-	
事業収入	-	-		
会費(自己負担等)	-	-		
繰越金	-	-		
その他	-	-		
合計	-	-		
市の補助金の割合	-	-		

補助金名称	観光案内所運営事業補助金	担当課名	産業振興課
-------	--------------	------	-------

(2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	無	→	2見直した年度	年度
3内容				

(3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
【必要性】		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか (ある→○、ない→×)	○	
【妥当性】		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
【有効性】		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
【公平性】		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	観光案内所運営事業補助金	担当課名	産業振興課
-------	--------------	------	-------

(4) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	観光協会育成のため、当分の間継続する
②積算基準を定めているか (前年踏襲になっていない)	×	定めがない
③補助要綱で補助対象となる経費が明確 になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の 補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分 の1以内になっているか	○	
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額 は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

(5) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	観光事業振興による地域経済の活性化
2達成状況	入込客数の増加につながっている
3補助効果の評価	b一定の効果をあげている
4評価の理由	観光案内の要となっている

(6) 今後の方向性

今後の方向性	a現行のまま継続
--------	----------

「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由	入込客数の増加につながっているため	見直しの内容	
		見直しの時期	

「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

補助金チェックシート

(1) 補助の内容

		作成年度	30 年度	
1補助金名称	裾野市猟友会補助金		2担当課名	農林振興課
3総合計画の施策の柱	5-2			
4予算科目	款	6	項	1
				目
				3
			事業コード	0608
5現在考えている事業期間	終期設定の有無		無	
	開始	H17以前	年度	～
			終期(予定)	—
			年度	(終期設定有の場合のみ)
6根拠例規の有無	有	例規名称	裾野市農林業指導費及び振興補助金交付要綱	
7必須業務	必須でない			
8性質別分類①	d市単独助成		9性質別分類②	a運営費補助
10交付先分類	b特定団体(市事務局)			
11交付先	裾野市猟友会			
12補助金の目的	裾野市猟友会の運営に関する費用の一部を補助する。			
13補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	鳥獣からの農作物や樹木被害の軽減。			
14補助対象者・団体等が補助金で行う活動	狩猟免許更新や技術向上のための競技会参加に要する経費等。			
15積算根拠の有無	無			
16積算の考え方 計算式	定額			
17補助対象経費の設定の有無	無			
18補助対象経費の内容	交際費	慶弔費	飲食費	懇親会費
				積立金
その他補助対象の項目				
19団体等の構成員数	28 年度	29 年度	補足	
団体	1	1		
人数	59	55		
	決算		予算	(千円)
20市の補助金の財源	28 年度	29 年度	30 年度	補足
国・県支出金	0	0	0	運営費該当分のみ
その他補助金	107	108	108	
一般財源	170	170	170	
合計	277	278	278	
21団体・事業の財務内容	28 年度	29 年度	補足	
補助金 助成金	市	170	170	
	その他	107	108	
事業収入	3,582	7,697		
会費(自己負担等)	595	568		
繰越金	238	188		
その他	510	87		
合計	5,202	8,818		
市の補助金の割合	3%	2%		

補助金名称	裾野市猟友会補助金	担当課名	農林振興課
-------	-----------	------	-------

(2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	無	→	2見直した年度	年度
3内容				

(3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
【必要性】		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか (ある→○、ない→×)	○	
【妥当性】		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
【有効性】		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
【公平性】		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	裾野市猟友会補助金	担当課名	農林振興課
-------	-----------	------	-------

(4) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	継続的な取り組みが必要な事業であり、終期は設定しない。
②積算基準を定めているか (前年踏襲になっていない)	△	定額補助
③補助要綱で補助対象となる経費が明確になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分の1以内になっているか	○	
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

(5) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	鳥獣からの農作物や樹木被害の軽減。
2達成状況	被害のゆるやかな減少
3補助効果の評価	b一定の効果をあげている
4評価の理由	鳥獣被害対策実施隊との連携も図られており、捕獲頭数も増加している。

(6) 今後の方向性

今後の方向性	a現行のまま継続
--------	----------

「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由	有害鳥獣の被害防除に対応できる市内で唯一の組織であり、継続的な取組と支援を要するため。	見直しの内容	
		見直しの時期	

「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

補助金チェックシート

(1) 補助の内容

		作成年度	30 年度							
1補助金名称	機構集積協力金		2担当課名	農林振興課						
3総合計画の施策の柱	5-2									
4予算科目	款	6	項	1	目	3	事業コード	0608		
5現在考えている事業期間	終期設定の有無		無							
	開始	H26	年度	~	終期(予定)	—	年度	(終期設定有の場合のみ)		
6根拠例規の有無	有	例規名称	裾野市農地中間管理機構集積協力金交付要綱							
7必須業務	必須									
8性質別分類①	c(市の上乗せなし)国・県の制度との連動			9性質別分類②	dその他					
10交付先分類	d不特定団体及び個人									
11交付先	農地を貸し付けた地域及び個人									
12補助金の目的	農地中間管理事業を活用した担い手への農地集積を支援するため、補助金を交付する。									
13補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	担い手への農地集約化による効率化・大規模化の推進。									
14補助対象者・団体等が補助金で行う活動	農地中間管理機構に貸し付けた面積に応じて補助金を受領する。									
15積算根拠の有無	有									
16積算の考え方 計算式	<ul style="list-style-type: none"> ・地域集積協力金 ・経営転換協力金 ・耕作者集積協力金 年度により変動あり									
17補助対象経費の設定の有無	有									
18補助対象経費の内容	交際費	×	慶弔費	×	飲食費	×	懇親会費	×	積立金	×
その他補助対象の項目										
19団体等の構成員数	28 年度	29 年度	補足							
団体										
人数										
	決算		予算	(千円)						
20市の補助金の財源	28 年度	29 年度	30 年度	補足						
国・県支出金	48	0	300							
その他補助金	0	0	0							
一般財源	0	0	0							
合計	48	0	300							
21団体・事業の財務内容	28 年度	29 年度	補足							
補助金 助成金	市	48	0							
	その他	0	0							
事業収入	0	0								
会費(自己負担等)	0	0								
繰越金	0	0								
その他	0	0								
合計	48	0								
市の補助金の割合	100%	0%								

補助金名称	機構集積協力金	担当課名	農林振興課
-------	---------	------	-------

(2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	無	→	2見直した年度	年度
3内容				

(3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
【必要性】		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	×	農地を貸し付けた地域および個人のみ
④市民ニーズが高い事業か	×	農地を貸し付けた地域および個人のみ
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか(ある→○、ない→×)	○	
【妥当性】		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
【有効性】		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
【公平性】		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	機構集積協力金	担当課名	農林振興課
-------	---------	------	-------

(4) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	国の制度に連動した事業であり、市単独で設定できない。
②積算基準を定めているか (前年踏襲になっていない)	○	
③補助要綱で補助対象となる経費が明確 になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の 補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分 の1以内になっているか	△	全額について市を經由した間接補助のため
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額 は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

(5) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	担い手への農地集約化による効率化・大規模化の推進。
2達成状況	担い手になりうる新規就農者への円滑な農地集積(平成28年度実施)
3補助効果の評価	b一定の効果をあげている
4評価の理由	申請があれば対応できるようにしている。

(6) 今後の方向性

今後の方向性	a現行のまま継続
--------	----------

「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由	農地集約化を進め、農業の効率化・大規模化に努める必要があるため	見直しの内容	
		見直しの時期	

「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

補助金チェックシート

(1) 補助の内容

		作成年度	30 年度	
1補助金名称	景観作物促進事業補助金		2担当課名	農林振興課
3総合計画の施策の柱	5-2			
4予算科目	款	6	項	1
				目
				3
			事業コード	0611
5現在考えている事業期間	終期設定の有無		無	
	開始	H22	年度	～
			終期(予定)	—
			年度	(終期設定有の場合のみ)
6根拠例規の有無	有	例規名称	裾野市農林業指導費及び振興補助金交付要綱	
7必須業務	必須でない			
8性質別分類①	d市単独助成		9性質別分類②	b事業費補助
10交付先分類	c特定団体(その他)			
11交付先	裾野市パノラマロードを花でいっぱいにする会			
12補助金の目的	耕作放棄地の解消及び有効利用を図るため、景観作物を栽培する団体に対し、費用の一部を補助する。			
13補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	荒廃農地の解消と農村景観の向上。市民協働の促進。			
14補助対象者・団体等が補助金で行う活動	圃場管理のための資機材、景観作物の種や肥料等の資材の購入。			
15積算根拠の有無	無			
16積算の考え方 計算式	定額			
17補助対象経費の設定の有無	無			
18補助対象経費の内容	交際費	慶弔費	飲食費	懇親会費
				積立金
その他補助対象の項目				
19団体等の構成員数	28 年度	29 年度	補足	
団体				
人数				
	決算		予算	(千円)
20市の補助金の財源	28 年度	29 年度	30 年度	補足
国・県支出金	0	0	0	
その他補助金	0	0	0	
一般財源	1,400	1,330	1,330	
合計	1,400	1,330	1,330	
21団体・事業の財務内容	28 年度	29 年度	補足	
補助金 助成金	市	1,400	1,330	H28: 22団体、39個人 H29: 23団体、41個人
	その他	155	155	
事業収入	0	0		
会費(自己負担等)	120	134		
繰越金	50	199		
その他	0	50		
合計	1,725	1,868		
市の補助金の割合	81%	71%		

補助金名称	景観作物促進事業補助金	担当課名	農林振興課
-------	-------------	------	-------

(2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	有	→	2見直した年度	29	年度
3内容	事業内容精査による金額の変更(減額)				

(3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
【必要性】		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか (ある→○、ない→×)	○	
【妥当性】		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
【有効性】		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
【公平性】		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	景観作物促進事業補助金	担当課名	農林振興課
-------	-------------	------	-------

(4) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	パノマロード沿いのコスモス・菜の花は、裾野市を代表する景観となっている。
②積算基準を定めているか (前年踏襲になっていない)	○	
③補助要綱で補助対象となる経費が明確になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分の1以内になっているか	×	2分の1以上の補助率
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

(5) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	荒廃農地の解消と農村景観の向上。市民協働の促進。
2達成状況	市民協働により、花を植栽することにより、荒廃農地を有効活用できている。
3補助効果の評価	a十分効果をあげている
4評価の理由	春・秋の祭りでは、観光バスでの来場者も増加しており、県内外からの取材依頼もある。

(6) 今後の方向性

今後の方向性	a現行のまま継続
--------	----------

「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由	荒廃農地の解消、農村景観の向上とともに、観光拠点整備としての位置付けもあり、継続的な取組が必要である。	見直しの内容	
		見直しの時期	

「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

補助金チェックシート

(1) 補助の内容

		作成年度	30 年度	
1補助金名称	死亡獣畜処理助成金		2担当課名	農林振興課
3総合計画の施策の柱	5-2			
4予算科目	款	6	項	1
			目	4
			事業コード	0614
5現在考えている事業期間	終期設定の有無		無	
	開始	H10	年度	～
			終期(予定)	—
			年度	(終期設定有の場合のみ)
6根拠例規の有無	有	例規名称	裾野市死亡獣畜処理助成金交付要綱	
7必須業務	必須でない			
8性質別分類①	d市単独助成		9性質別分類②	b事業費補助
10交付先分類	d不特定団体及び個人			
11交付先	市内在住で畜産業を営む者			
12補助金の目的	畜産農家の負担を軽減するため、死亡獣畜処理に関する費用の一部を補助する。			
13補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	廃棄物の適正処理と畜産農家の負担軽減。			
14補助対象者・団体等が補助金で行う活動	産業廃棄物としての処理費の一部として活用。			
15積算根拠の有無	有			
16積算の考え方 計算式	24,000×2頭 牛 12,750×2頭 豚			
17補助対象経費の設定の有無	無			
18補助対象経費の内容	交際費	慶弔費	飲食費	懇親会費
				積立金
その他補助対象の項目				
19団体等の構成員数	28 年度	29 年度	補足	
団体				
人数				
	決算		予算	(千円)
20市の補助金の財源	28 年度	29 年度	30 年度	補足
国・県支出金	0	0	0	
その他補助金	0	0	0	
一般財源	26	0	24	
合計	26	0	24	
21団体・事業の財務内容	28 年度	29 年度	補足	
補助金助成金	市	26	0	
	その他	0	0	
事業収入	0	0		
会費(自己負担等)	0	0		
繰越金	0	0		
その他	26	0		
合計	52	0		
市の補助金の割合	50%	0%		

補助金名称	死亡獣畜処理助成金	担当課名	農林振興課
-------	-----------	------	-------

(2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	無	→	2見直した年度	年度
3内容				

(3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
【必要性】		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	×	家畜農家のみ
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか (ある→○、ない→×)	○	
【妥当性】		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
【有効性】		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
【公平性】		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	死亡獣畜処理助成金	担当課名	農林振興課
-------	-----------	------	-------

(4) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	△	家畜農家が裾野市内に存在しなくなった時
②積算基準を定めているか (前年踏襲になっていない)	○	
③補助要綱で補助対象となる経費が明確 になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の 補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分 の1以内になっているか	○	
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額 は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

(5) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	廃棄物の適正処理と畜産農家の負担軽減。
2達成状況	H28に1件(豚2頭分)支出済。
3補助効果の評価	b一定の効果をあげている
4評価の理由	申請があれば対応できるようにしている。

(6) 今後の方向性

今後の方向性	dその他
--------	------

「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由		見直しの内容	
		見直しの時期	

「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	現状では補助金支出の見込みはないが、新規始業した際の需要を見込み、要綱は廃止しない。
廃止の時期			

補助金チェックシート

(1) 補助の内容

		作成年度	30 年度	
1補助金名称	裾野市森林組合補助金		2担当課名	農林振興課
3総合計画の施策の柱	4-1			
4予算科目	款	6	項	2
			目	1
			事業コード	0650
5現在考えている事業期間	終期設定の有無		無	
	開始	H17以前	年度	～
			終期(予定)	—
			年度	(終期設定有の場合のみ)
6根拠例規の有無	有	例規名称	裾野市農林業指導費及び振興補助金交付要綱	
7必須業務	必須でない			
8性質別分類①	d市単独助成		9性質別分類②	a運営費補助
10交付先分類	c特定団体(その他)			
11交付先	裾野市森林組合			
12補助金の目的	裾野市森林組合の運営に関する費用の一部を補助する。			
13補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	森林組合の財政健全化と作業員等の待遇向上。			
14補助対象者・団体等が補助金で行う活動	人件費、その他組合の運営に必要な経費。			
15積算根拠の有無	無			
16積算の考え方 計算式	定額			
17補助対象経費の設定の有無	無			
18補助対象経費の内容	交際費	慶弔費	飲食費	懇親会費
				積立金
その他補助対象の項目				
19団体等の構成員数	28 年度	29 年度	補足	
団体	1	1		
人数	359	357		
	決算		予算	(千円)
20市の補助金の財源	28 年度	29 年度	30 年度	補足
国・県支出金	0	0	0	
その他補助金	0	0	0	
一般財源	2,800	2,800	2,800	
合計	2,800	2,800	2,800	
21団体・事業の財務内容	28 年度	29 年度	補足	
補助金				
助成金				
市	2,800	2,800		
その他	29,903	27,161		
事業収入	39,284	39,007		
会費(自己負担等)	0	0		
繰越金	9,203	6,864		
その他	0	0		
合計	81,190	75,832		
市の補助金の割合	3%	4%		

補助金名称	裾野市森林組合補助金	担当課名	農林振興課
-------	------------	------	-------

(2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	無	→	2見直した年度	年度
3内容				

(3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
【必要性】		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか (ある→○、ない→×)	○	
【妥当性】		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
【有効性】		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
【公平性】		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	裾野市森林組合補助金	担当課名	農林振興課
-------	------------	------	-------

(4) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	継続的な取り組みが必要な事業であり、終期は設定しない。
②積算基準を定めているか (前年踏襲になっていない)	△	定額補助
③補助要綱で補助対象となる経費が明確になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分の1以内になっているか	○	
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

(5) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	森林組合の財政健全化と作業員等の待遇向上。
2達成状況	決算状況の改善(黒字化)
3補助効果の評価	b一定の効果をあげている
4評価の理由	市内唯一の林業事業体として、毎年安定した森林整備面積を達成している。

(6) 今後の方向性

今後の方向性	a現行のまま継続
--------	----------

「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由	市内唯一の林業事業体であり山地災害防止、森林資源活用の観点から安定した運営を支援する必要があるため。	見直しの内容	
		見直しの時期	

「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

補助金チェックシート

(1) 補助の内容

		作成年度	30 年度	
1補助金名称	裾野市花の会補助金		2担当課名	農林振興課
3総合計画の施策の柱	5-2			
4予算科目	款	6	項	2
			目	2
			事業コード	0653
5現在考えている事業期間	終期設定の有無		無	
	開始	H17以前	年度	～
			終期(予定)	—
			年度	(終期設定有の場合のみ)
6根拠例規の有無	有	例規名称	裾野市農林業指導費及び振興補助金交付要綱	
7必須業務	必須でない			
8性質別分類①	d市単独助成		9性質別分類②	b事業費補助
10交付先分類	c特定団体(その他)			
11交付先	裾野市花の会			
12補助金の目的	裾野市花の会の運営に関する費用の一部を補助する。			
13補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	市役所、小柄沢側横歩道や警察署への花の植栽による、憩いの環境の創出。			
14補助対象者・団体等が補助金で行う活動	苗や肥料等の資材の購入。			
15積算根拠の有無	無			
16積算の考え方 計算式	定額			
17補助対象経費の設定の有無	無			
18補助対象経費の内容	交際費	慶弔費	飲食費	懇親会費
				積立金
その他補助対象の項目				
19団体等の構成員数	28 年度	29 年度	補足	
団体				
人数				
	決算		予算	(千円)
20市の補助金の財源	28 年度	29 年度	30 年度	補足
国・県支出金	0	0	0	
その他補助金	0	0	0	
一般財源	130	120	120	
合計	130	120	120	
21団体・事業の財務内容	28 年度	29 年度	補足	
補助金				
助成金				
市	130	120		
その他	0	0		
事業収入	0	0		
会費(自己負担等)	44	57		
繰越金	110	69		
その他	0	0		
合計	284	246		
市の補助金の割合	46%	49%		

補助金名称	裾野市花の会補助金	担当課名	農林振興課
-------	-----------	------	-------

(2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	有	→	2見直した年度	29	年度
3内容	事業内容精査による金額の変更(減額)				

(3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
【必要性】		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか(ある→○、ない→×)	○	
【妥当性】		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
【有効性】		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
【公平性】		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	裾野市花の会補助金	担当課名	農林振興課
-------	-----------	------	-------

(4) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	継続的な取り組みが必要な事業であり、終期は設定しない。
②積算基準を定めているか (前年踏襲になっていない)	×	定額補助
③補助要綱で補助対象となる経費が明確になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分の1以内になっているか	×	2分の1以上の補助率
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

(5) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	市役所、小柄沢側横歩道や警察署への花の植栽による、憩いの環境の創出。
2達成状況	花の会による年2回の花の植替えにより憩いの環境のを創出。
3補助効果の評価	b一定の効果をあげている
4評価の理由	春と秋に花の植替えを行い、花を通して季節を感じる景観を創出している。

(6) 今後の方向性

今後の方向性	a現行のまま継続
--------	----------

「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由	花を通じた住みよい地域づくりの推進に努める必要があるため。	見直しの内容	
		見直しの時期	

「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

補助金チェックシート

(1)補助の内容		作成年度	30 年度	
1補助金名称	緑の少年団補助金		2担当課名	農林振興課
3総合計画の施策の柱	5-2			
4予算科目	款	6	項	2
			目	2
			事業コード	0653
5現在考えている事業期間	終期設定の有無	無		
	開始	H17以前	年度	～
			終期(予定)	—
			年度	(終期設定有の場合のみ)
6根拠例規の有無	有	例規名称	裾野市農林業指導費及び振興補助金交付要綱	
7必須業務	必須でない			
8性質別分類①	d市単独助成		9性質別分類②	b事業費補助
10交付先分類	c特定団体(その他)			
11交付先	市内小中学校			
12補助金の目的	緑化資材の購入に関する費用の一部を補助する。			
13補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	学校内の花の植栽による学び・憩いの場の創出。			
14補助対象者・団体等が補助金で行う活動	校内への花の植栽、緑化活動。			
15積算根拠の有無	無			
16積算の考え方 計算式	定額			
17補助対象経費の設定の有無	無			
18補助対象経費の内容	交際費	慶弔費	飲食費	懇親会費
				積立金
その他補助対象の項目				
19団体等の構成員数	28 年度	29 年度	補足	
団体				
人数				
	決算		予算	(千円)
20市の補助金の財源	28 年度	29 年度	30 年度	補足
国・県支出金	0	0	0	
その他補助金	0	0	0	
一般財源	84	84	84	
合計	84	84	84	
21団体・事業の財務内容	28 年度	29 年度	補足	
補助金	84	84		
助成金	0	0		
市				
その他				
事業収入	0	0		
会費(自己負担等)	0	0		
繰越金	0	0		
その他	0	0		
合計	84	84		
市の補助金の割合	100%	100%		

補助金名称	緑の少年団補助金	担当課名	農林振興課
-------	----------	------	-------

(2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	無	→	2見直した年度	年度
3内容				

(3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
【必要性】		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	△	市内小学校のみ
④市民ニーズが高い事業か	△	市内小学校のみ
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか(ある→○、ない→×)	△	小学生が緑に触れ親しむ情操教育の機会が減少する
【妥当性】		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
【有効性】		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
【公平性】		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	緑の少年団補助金	担当課名	農林振興課
-------	----------	------	-------

(4) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	継続的な取り組みが必要な事業であり、終期は設定しない。
②積算基準を定めているか (前年踏襲になっていない)	△	定額補助
③補助要綱で補助対象となる経費が明確になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分の1以内になっているか	×	全額補助
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

(5) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	学校内の花の植栽による学び・憩いの場の創出。
2達成状況	学校内での花の植栽や環境学習により憩いの場を創出。
3補助効果の評価	b一定の効果をあげている
4評価の理由	学校内での花の植栽や環境学習を通し、児童の緑花木への関心が深まっている。

(6) 今後の方向性

今後の方向性	a現行のまま継続
--------	----------

「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由	学校内の緑化を進め草花の世話を通し児童の豊かな情操を培う必要があるため。	見直しの内容	
		見直しの時期	

「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			

補助金チェックシート

(1) 補助の内容

		作成年度	30 年度	
1補助金名称	間伐事業補助金(裾野市森林組合)		2担当課名	農林振興課
3総合計画の施策の柱	4-1			
4予算科目	款	6	項	2
			目	2
			事業コード	0653
5現在考えている事業期間	終期設定の有無		無	
	開始	H4以前	年度	~
			終期(予定)	—
			年度	(終期設定有の場合のみ)
6根拠例規の有無	有	例規名称	裾野市間伐事業補助金交付要綱	
7必須業務	必須でない			
8性質別分類①	d市単独助成		9性質別分類②	b事業費補助
10交付先分類	c特定団体(その他)			
11交付先	裾野市森林組合			
12補助金の目的	裾野市森林組合が間伐事業を実施する費用の一部を補助する。			
13補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	市内森林の整備による治山の推進。森林資源の有効活用。			
14補助対象者・団体等が補助金で行う活動	間伐事業に従事する作業者の人件費、資機材費等。			
15積算根拠の有無	有			
16積算の考え方 計算式	県補助分10ha 市単分120ha 間伐材搬出300m ³			
17補助対象経費の設定の有無	有			
18補助対象経費の内容	交際費	×	慶弔費	×
			飲食費	×
			懇親会費	×
			積立金	×
その他補助対象の項目				
19団体等の構成員数	28 年度	29 年度	補足	
団体				
人数				
	決算		予算	(千円)
20市の補助金の財源	28 年度	29 年度	30 年度	補足
国・県支出金	772	0	778	
その他補助金	0	0	0	
一般財源	23,537	23,430	25,349	
合計	24,309	23,430	26,127	
21団体・事業の財務内容	28 年度	29 年度	補足	
補助金				
助成金				
市	23,537	23,430		
その他	772	0		
事業収入	0	0	H29は県補助間伐実施なし	
会費(自己負担等)	0	0		
繰越金	0	0		
その他	0	0		
合計	24,309	23,430		
市の補助金の割合	97%	100%		

補助金名称	間伐事業補助金(裾野市森林組合)	担当課名	農林振興課
-------	------------------	------	-------

(2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	無	→	2見直した年度	年度
3内容				

(3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
【必要性】		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか(ある→○、ない→×)	○	
【妥当性】		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
【有効性】		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
【公平性】		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	間伐事業補助金(裾野市森林組合)	担当課名	農林振興課
-------	------------------	------	-------

(4) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	×	継続的な取り組みが必要な事業であり、終期は設定しない。
②積算基準を定めているか (前年踏襲になっていない)	○	
③補助要綱で補助対象となる経費が明確 になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の 補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分 の1以内になっているか	△	県補助間伐の基準額を準用
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額 は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

(5) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	市内森林の整備による治山の推進。森林資源の有効活用。
2達成状況	総合計画に掲げる森林整備面積を概ね達成している。 (150ha/年)
3補助効果の評価	a十分効果をあげている
4評価の理由	山地災害の防止に大いに成果を上げている。

(6) 今後の方向性

今後の方向性	a現行のまま継続
--------	----------

「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由	局地化する自然災害対策として継続的な取組が必要であるため。	見直しの内容	
		見直しの時期	

「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			